

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40		-	3.5
1 音環境						3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音						3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能						-	-	3.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	4.0	1.00	3.8
2.1 室温制御						3.0	0.50	4.0	1.00	
2.1.1 室温						3.0	0.63	-	-	
2.1.2 外皮性能		省エネ適判は仕様基準				3.0	0.38	4.0	1.00	
2.1.3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1 昼光利用						3.0	0.30	3.0	0.50	
3.1.1 昼光率						3.0	0.60	3.0	0.50	
3.1.2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	4.0	0.50	
3.2.1 昼光制御		カーテン・庇による昼光制御				3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策						4.0	0.60	4.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質		建築材料はF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.40	3.0	0.38	
4.2.1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.50	
4.2.2 自然換気性能						-	-	3.0	0.50	
4.2.3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御						-	-	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.0
1 機能性						3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	3.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性						-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応						-	-	3.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	3.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
1.2.3 内装計画						3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
2.1.1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.3	0.30	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		日本住宅性能表示基準 劣化の軽減に関する事等 等級3相当				5.0	0.20	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:フローリング(25年)、壁:ビニルクロス貼(20年)、天井:ビニルクロス(30年)				4.0	0.10	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:SUS管(C)、排水(雑・汚水):VP(B)、給湯管:SUS管(C)				4.0	0.20	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
2.4.1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性			3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
	3.1 空間のゆとり			-	-	3.0	0.50	
	1 階高のゆとり	-		-	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-		-	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1	生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1	エネルギー			-	0.40	-	-	2.5
1	建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2	自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化			2.0	0.50	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	集合住宅の評価			2.0	1.00	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-		-	-	-	-	
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-		3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水	-		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-		3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
	2.1 材料使用量の削減	-		3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避	-		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2	地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止	-		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-		3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-		-	-	-	-	
	3 悪臭	-		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制	-		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	光害チェックシートの一部を満たし、広告物照明はない	4.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-		3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	○	-	-	○	○	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	7.0		2.0	-	1.0	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		-	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	-	-	-	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	2.0		-	-	2.0										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-								
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	-	-		1.0	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-
U値(W/m ² K)	窓システム	屋根	外壁
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC
			床
			η AH

3.1.1 昼光率

昼光率 -

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 -

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース /人 病床 /床 シングル ツイン

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 VA/m²

1.2.1 広さ感・景観

天井高 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース レストスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 75年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 20年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 -

3.2 荷重のゆとり

床荷重 N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 建物緑化指数

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 水平投影面積率 地表面対策面積率 舗装面積率

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 断熱等性能等級 等級4相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 採光を満たす住戸数

3 設備システムの高効率化

通風を満たす教室数 通風を満たす住戸数

非住宅部分

太陽光 太陽熱等 蓄電池

集合住宅の評価

BEI/BEI_m 再エネ有 無 オフサイト再エネ有

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 -

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 エコマーク商品 自治体指定の特定品目等

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 -

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 隣棟間隔指標R_w

地表面対策面積率 屋根面対策面積率 外壁面対策面積率

見付面積S_b 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s m 基準高さH_b m

緑地 m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²